

第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」リハーサル大会 グラウンドソフトボール競技実施要領

1 競技規則

令和3年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの編成は、監督1名、選手15名以内（男女は問わない）とし、他に専任のコーチャー4名以内、スコアラー1名及びマネージャー1名を設けてもよい。
- (2) 監督が選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手の人数は、選手を兼ねる監督含め15名以内とする。

3 競技方法

- (1) 試合はトーナメント方式とし、3位決定戦を行う。
- (2) 試合時間は90分(決勝・3決は110分)とする。
7イニング制とし、試合開始後80分(決勝・3決は100分)を経過した後は、新しいイニングに入らない。
- (3) 同点の場合は、制限時間内において延長戦を行う。それでも同点の場合は、最終出場選手10名の抽選によって勝敗を決定する。
- (4) 指名打者（DH）及び再出場（リエントリー）を採用する。
- (5) 試合球は、全日本グラウンドソフトボール連盟公認球とし、主催者が用意する。

4 服装等

- (1) 同一チームの監督、コーチャー及び選手は、同色・同意匠のユニフォームを着用しなければならない。
- (2) ユニフォームナンバーは、背中と胸下につけなければならない。監督は30番、専任のコーチャーは31番から34番、主将は10番とし、他の選手は1番から99番の番号とする。また、ユニフォームの左袖に県・指定都市名を表示すること。
- (3) 競技中、コーチャーズボックスにいるランナーコーチャーは、黄色の帽子を着用すること。
- (4) スコアラー及びマネージャーは、ユニフォームを着用してはならない。
- (5) 金属製スパイクの使用は禁止する。
- (6) 危険防止のため、競技中の選手(コーチャー含む)は、腕時計、ブレスレット、ネックレス等、危険と思われるものを着用してはならない。

5 組合せ

組合せは、令和3年2月～3月に開催するプログラム編成会議において主催者が、関係者立会いのもとに代理抽選の上、決定する。

6 打順表等

- (1) 打順表は、試合開始時刻20分前までに5部作成し、競技本部へ提出する。
ただし、第1試合は開始式終了後に提出すること。
- (2) 攻守の決定は、打順表提出時に審判員立会いのもと決定する。

7 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

8 その他

- (1) 監督会議は、当日現地で行い、その場において大会申し合わせ事項を設けることができる。
なお、監督会議の時間及び場所については別途通知する。
- (2) ベンチは、組合せ表の番号が若いチームを1塁側とする。
- (3) ベンチ内へは、監督、コーチャー、選手、スコアラー、マネージャー以外は入ることができない。
- (4) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (5) アイシェード、全盲プレイヤーの標示物、黄色標示物、コーチャー用帽子及び練習球は、各チームで用意すること。
- (6) 練習場所については、主催者からの指示に従うものとする。
- (7) 練習球は、各チームが用意する。
- (8) 少雨の場合は決行するが、荒天時他不測の事態が生じた場合等の取扱いは、主催者において別途決定する。
- (9) 参加者は、主催者が定めた新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドラインを遵守すること。